

# 坂本やすひこ 議員だより

日本共産党

2017年  
4月発行  
連絡先  
赤穂福岡  
83-1627

## 駒ヶ根市議会3月定例会の内容と報告 予算、条例、補正予算など38件可決

2017年度・平成29年度、一般会計と特別・企業会計予算案が提案され可決されました。

一般会計予算は修正案を提出しました。特別会計と企業会計予算案には賛成しました。

### 一般会計予算案

#### 修正案を提出し

#### 否決され、原案を可決

共産党議員団2人は、一般会計予算案で新年度から廃止、削減された障がい者福祉事業の4項目（在宅支援等）を前年度並みにする修正案を最終日の本会議に提出しました。

国の障がい者総合支援法が見直されましたが、極めて不十分な内容であり、施策を見極めるべきと修正案を提起しましたが、賛成は2人で否決され、原案が可決されました。

### 新年度予算、新規・

#### 拡充の主要事業内容

- ・テレワーク推進事業、サテライトオフィス整備、1059万円
- ・ジオパーク推進事業、1274万円
- ・桧尾小屋・登山道整備、1200万円
- ・磐田市友好都市50周年、230万円
- ・デマンド車両購入ワゴン車、330万円
- ・病児・病後児保育、1200万円
- ・昭和伊南総合病院運営経費、7513万円の減
- ・伊南行政不燃物処理を上伊那広域へ移行に伴い、ごみ処理負担金、5407万円の減
- ・上伊那広域ごみ処理負担金、6868万円の増
- ・保育料軽減、市町村民税非課税世帯の第2子保育料無償化

### 公共施設の改修等予算

- ・こまくさの湯施設リニューアル、28年から繰越、6000万円
- ・シルクミュージアム、施設リニューアル、28年度から繰越、4000万円
- ・赤穂東小エレベータ設置、28年度繰越、3730万円
- ・赤穂南小体育館吊り天井耐震、28年度繰越、2820万円
- ・東中学校特別教室棟建設、28年度繰越2億6550万円
- ・東中学校照明器具等耐震工事、28年度繰越、1850万円
- ・北の原プール解体撤去 2000万円
- ・大田切りサイクルステーション拡充工事、4000万円
- ・赤穂公民館基本設計委託、200万円
- ・中沢公民館エアコン設置、163万円
- ・文化会館大ホール吊り天井耐震工事、5500万円

### 請願は1件

請願は、安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める意見書を長野県医労連から送付され、紹介議員として本会議で説明しました。

教育民生委員会で審査し、全会一致採択され意見書を提出しました。

### 陳情は3件を審議し

#### 2つの意見書提出

陳情は7件ありましたが、4件は配布のみであり、3件の審査になりました。

1、「テロ等準備罪」いわゆる「共謀罪」を新設する組織犯罪処罰法改正案に反対する陳情は、総務委員会で審議、採決の結果継続審査になりました。

2、オスプレイの低空飛行訓練の中止を求める陳情は、採決の結果、趣旨採択になりましたが、本会議では意見書を提出しました。

3、「核なき世界」をめざす核兵器禁止条約への賛成と、核兵器廃絶の平和外交の推進を求める陳情は、採決の結果、一部採択になりましたが、本会議では意見書を提出しました。



### 市議会議員の 厚生年金加入の法整備 要望の意見書を提出

市議会だよりでもお知らせしましたが、地方議員年金は平成23年6月に廃止されており現在は国民年金等に加入しています。

国民の幅広い層からの政治参加や地方議会における人材確保の観点から、厚生年金加入の法整備を住民の皆さんの理解も得ることに取り組みながら意見書を提出しました。

### 伊南行政組合、平成29 年度、一般会計予算

伊南行政組合議会が2月20日に開催され一般会計予算は、前年度比1億6502万円減の10億2353万円です。

不燃物処理事業が大田切処理施設から広域連合に移管し、施設を解体するため5851万円の減。その内解体工事に3300万円です。病院事業は、繰り出しを、985万円減となったものが主なものです。

### 伊南病院事業会計予算

病院事業会計予算は、収入64億819万円、支出は、64億587万円、前年比1億円余増加です。入院患者1日平均196人、外来患者1日平均495人の予定です。

## ○国民健康保険、県移行で市民への影響は

## ○大田切りサイクルステーション拡充の今後は

## ○地方交付税制度の逆行には批判的対応を

坂本やすひこ議員の一般質問

### 国民健康保険、県への移行で何が変わるか

問 国民健康保険は平成30年度からこれまでの市町村から、県に移行されることが決まっています。財政運営の主体は長野県になります。

保険者が県になって何が変わるのか。保険料はどのように決定していくのか、独自性・自主性は尊重されるのか、一般検診、特定健康診査などはこれまでと同様の実施になるのかどうか。

一般会計からの繰り入れでの保険料軽減などは市独自の判断で出来るかどうか。



### 直接的な影響はないと考える

市長

市町村は保険料の徴収、資格管理、特定検診などの保険事業と地域住民に身近な事務などを引き続き担い、国保加入者に直接的な影響はないと考えている。

保険料の決定は市町村の実態に合わせて決定できる。

一般会計からの繰り入れは引き続き行うこととなるが、今後の調整の中で方向性が決まってくる。

### 大田切りサイクルステーション拡充強化と、資源化のさらなる推進を

問 ごみ減量と資源化率向上のため、大田切りサイクルステーション拡充強化は資源化の更なる推進のため、市民がより利用しやすく安

全に出入りできる環境整備が期待される。

小型家電回収はリサイクルに貢献して市民に喜ばれているので続けるべきでは。

焼却処理されている剪定枝や間伐材を再利用する施設の整備、破砕設備の設置、チップ化や薪として活用する新たな事業に加えられないか。

### 利用者増加に対応出来るよう拡充する

市長 大田切りサイクルステーションは拡充を計画している。

搬入経路の見直しや建屋の増設で、利用者増加に対応出来るように考えている。

小型家電回収も市民に浸透してきており引き続き回収していく。剪定枝の資源化は重要な課題であり、騒音対策、利用先の確保など再利用可能かどうか検討していく。

### 地方交付税制度の

### 精神に反する算定に

### 批判を強めるべきでは

問 地方交付税制度は成果による算定、トップランナー方式による削減が始まっているが批判的立場での対応が必要ではないか。

政府は、施設の統廃合・集約化とともに公的サービスの産業化を一体に進める大臣通知を出している。

幼稚園と保育園の統廃合が表面化してきているが行政が責任をもつて管理運営する姿勢が大事では。

### 一律に差をつけるのは

### 本来の趣旨に反する

市長 地方創生関連交付税0.1%の微増。地理的条件や経済状況、合併の有無など市町村で状況は異なる。

行政改革は必要だが一律に成果をもって差をつけるのは本来の制度

の趣旨に反する。私自身国に直接提言していきたい。

公設民営と言っても受けてくれることがないと難しい。

大いに議論し施設ごとによって意見を聞く中でリーダーシップをとっていく。



### 赤穂南部地区関連予算

- ・消防団第2分団1号車庫(福岡)移設600万円。
- ・交通安全施設整備、馬見塚線28年度からの繰越と合わせ6800万円。
- ・スマートインターアクセス道路、繰越と合わせ、2億8100万円
- ・十二天の森、公園整備、1050万円、ウッドチップパー購入、100万円。

### 大田切りサイクルステーション拡充強化計画の今後

平成18年度から利用してきた施設は、年々利用者が増加し平成27年度実績では、1日当たり平均利用者が216人です。今回、隣接する伊南行政組合の処理場解体に合わせ、より利用しやすい環境を整えることにし、拡充します。

計画の内容は、

- ①メインのステーションとして利用する建屋を現在の東側に設置。
- ②建屋の両サイドからの搬入を可能にするため、導入路を1系統から2系統にする。
- ③入場口を現行の位置から南側に間口を広げ設置する
- ④祝日を挟む連休回収分の仮置きを可能にするため、敷地内東側に市のストックヤードを設置する。
- ⑤敷地南側を整地し、塵芥車が駐車できるスペースを確保する。

伊南行政組合の蛍光管、乾電池、取灰等有害ごみの保管庫を市が計画するストックヤードの西側に設置する。平成29年度中の完了予定。